

Living Health

●金曜特集 暮らしと健康のページ●

地域のがん診療体制強化へ 放射線治療で2病院連携

県の年間死亡者のうち、がんが原因でなくなる人の割合は平成22年が28・6%で、都道府県別みるとワースト4位となっている。県はこの高水準にある県民のがん死亡率の抑制を目指し、本年度、日高地方の御坊保健医療圏のがん診療体制を強化。放射線治療に関して国保日高総合病院（東充彦院長）と独立行政法人国立病院機構和歌山病院（楠山良雄院長）が連携し、和歌山病院の高度放射線治療機器のバージョンアップを予定している。

定の水準以上と認められるがん診療連携拠点病院1カ所の指定を推進。ことし4月1日現在、その数は全国で307施設、和歌山県内は7医療圏に分かれ、国立医科大付属病院（和歌山市）、日赤和歌山医療センター（同）、公立那賀病院（紀の川市）、社会保険紀南病院（田辺市）、独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター（同）、橋本市市民病院（橋本市）の6病院が4医療圏が指定されている。

度放射線治療装置を11年ぶりにバージョンアップ。日高病院と連携する中で、地域として拠点病院並みの医療体制充実を目指す。新宮保健医療圏では新宮市立医療センターに外来化学療法室を新設、内視鏡システムを整備。また、都道府県がん診療拠点病院でもある和歌山市の国立医科大付属病院には、最新の強度変調放射線治療（IMRT）を行える機器を整備するほか、手術室や内視鏡検査・治療室、化学療法センターなどを拡充する新棟が建設される。

このページは毎週全曜日付の12ページに掲載します。ご意見、ご感想は、〒644-0011、和歌山県御坊市湯川町財部604、日高新聞社編集課「暮らしと健康」の係まで。ファックスは0738・23・2112、電子メールはsimpo@axel.ocn.ne.jp



11年ぶりに機器が更新される和歌山病院リニアック治療室で鳴坂技師長（写真の機器は現在の2代目）

和歌山病院 リニアックを更新

国は住んでいない地域にかかわらず、高いがん診療を受けられるようにするため、各地方の2次保健医療圏ごとに、▽手術▽放射線療法▽化学療法▽緩和ケアの4つが一環は行い、新機器の導入、運用は本年度末から来年度に入る可能性もある。

和歌山病院の診療放射線技師長、鳴坂善吾さん（54）によると、リニアックは日本語にする「直線加速器」となり、装置の中の真空管で電子を加速させ、金属の標的にぶつけてX線や電子線の放射線を生み出す。そのエネルギーが高いため、従来の装置では届きにくかった体の深い部分の病変部位にまで放射線が到達。CTで撮影した治療部位の断面画像をもとに、「コンピュータ」で正確な病変の位置と最も安全で効果の高い放射線の照射角度などを計算、治療計画を作成し、鳴坂さんら放射線技師が医師の指示に従って放射線を照射する。



CTの画像をもとにコンピュータで最も効果の高い放射線照射をシミュレーション

新型はIGRTでさらに精度向上

日高地方でリニアックがある医療機関は和歌山病院だけ。今回更新されるリニアックにはIGRT（Image Guided Radiation Therapy）が併設され、治療中に呼吸器等で変位する照射位置を確認。患者がリニアックのベッドに寝たままCT画像を撮影、治療計画の画像と比べて誤差を計算、補正できるため、従来の体の皮膚マークを頼りとする位置確認に比べて格段に精度が高まるという。

医師、看護師ら慢性不足 マンパワーの充実も課題

このリニアックのバージョンアップにより、御坊保健医療圏のがん診療はさらに向上するが、実際の和歌山の医療現場は医師や看護師をはじめ、専門看護師、放射線技師など各種の資格を持つスタッフの不足、マンパワーの充実が喫緊の課題となっている。和歌山病院の鳴坂さんは県内第1号の医学

若さがえりきれいなヨガ

季節の変わり目、突然の雷雨で全国的に落雷だけがする人や被害が相次いでいます。雷が光っているときは外へ出ないようにして、家中でヨガをするのもいいですよ。今回は呼吸器系の強化、不眠症改善等に効果のある魚のポーズです。

まずはお尻の横になり、両腕のひじを上げて、手を離して、次に両ひじで床を押し、胸を開くように背中を床から引き上げ、アゴを天井に突き上げるようにして頭のてっぺんを真下します。背中をトンネルのような隙間ができた、足を伸ばしたまま少し持ち上げ、両手を足先の片に向けて、まっすぐ伸ばして完成。この姿勢を1分間キープ、2回やればOKです。

腹部と背筋を使う強度の高いポーズです。首への負荷が強い

上級者向けです。むちうち症などを患っている人は無理に体を曲げず、支えなくともかまいません。両ひじでしっかりと足を持ち上げるだけでもOKです。背中を引く締め呼吸器を刺激することで肺活量のアップにも効果があります。

新田信康先生（にった・のぶかつ） 日高川町在住のヨガインストラクター。若さがえり、美肌、エクササイズ、背骨引き締め体操、ヨガ、きもちいいヨガ、デトックスリンパなどを各地域で指導。出張講座も随時受け付け中。問い合わせは携帯090・7118・7611まで。

魚のポーズで呼吸器を強化

♪さつきせんせいの

背中を浮かせてトンネルをつくります

魚のポーズで呼吸器を強化